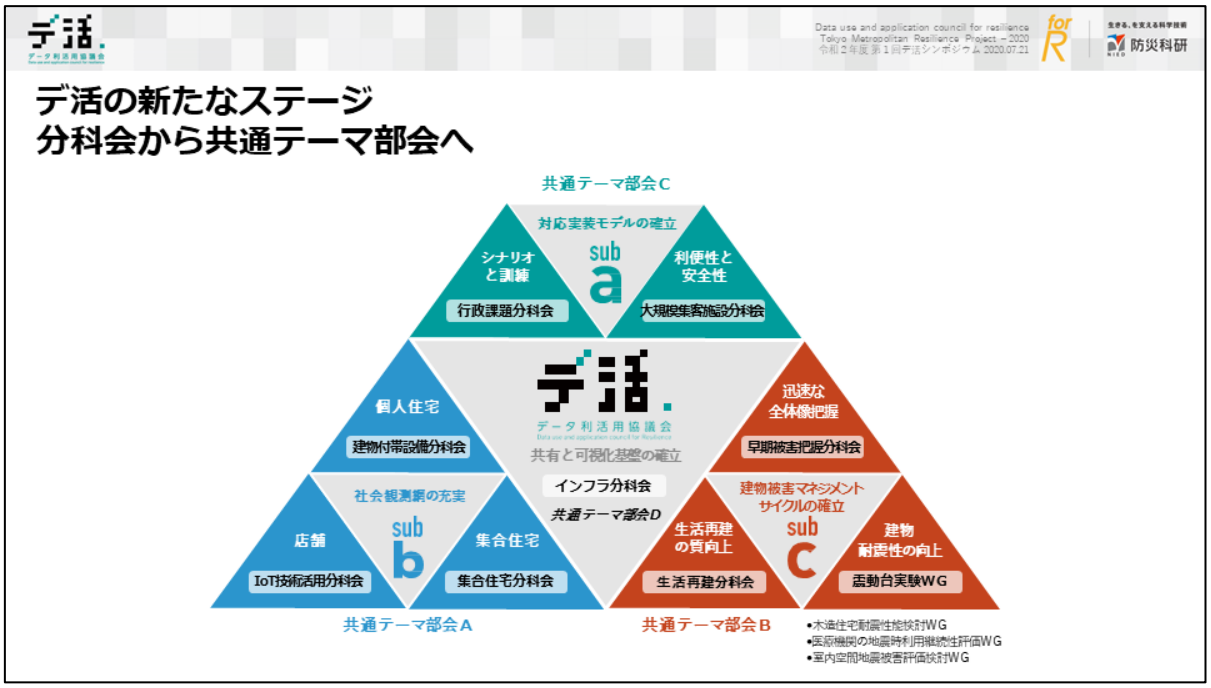
第２部　グループセッション
「デ活の新たなステージ・分科会から共通テーマ部会へ
『共通テーマ部会 A～ゆれの状況を把握する～』が目指すもの」

木村　玲欧（共通テーマ部会 A 推進役/ 兵庫県立大学環境人間学部 教授）

Web 会議方式で各拠点をつないで実施。兵庫県立大学の木村氏は写真右上

共通テーマ部会 A 推進役を務める兵庫県立大学環境人間学部教授の木村玲欧氏は、デ活における研究活動の単位として、研究テーマごとの分科会が存在するほか、共通したテーマを持った分科会が一つに集まり、もう一つ大きな研究の単位となる「共通テーマ部会」が組織されていることを説明。その上で、地震の揺れをどのように災害対策・防災に生かすかをテーマに研究する「共通テーマ部会 A」について紹介しました。

木村氏は、共通テーマ部会 A を構成する分科会として、IoT 技術をどのように防災・災害対策に生かすことができるかを研究する「IoT 技術活用分科会」、建物に付帯するさまざまな設備を、どのような揺れのデータを用いながら防災・災害対策に結び付けることができるかを研究する「建物付帯設備分科会」、集合住宅という特殊な環境を、どのように防災に結び付けていくことができるかを研究する「集合住宅分科会」が、それぞれのテーマで研究を進めてきたことを説明しました。


デ活
データ利活用協議会
Data use and application council for Resilience
Tokyo Metropolitan Resilience Project – 2020
令和2年度第1回デ活シンポジウム 2020.07.21
防災科研
デ活の新たなステージ
分科会から共通テーマ部会へ
共通テーマ部会C
対応実装モデルの確立
sub a
シナリオと訓練
行政課題分科会
利便性と安全性
大規模集客施設分科会
個人住宅
建物付帯設備分科会
デ活
データ利活用協議会
共有と可視化基盤の確立
インフラ分科会
共通テーマ部会D
迅速な全体像把握
早期被害把握分科会
社会観測網の充実
sub b
店舗
IoT技術活用分科会
集合住宅
集合住宅分科会
建物被害マネジメントサイクルの確立
sub c
生活再建の質向上
生活再建分科会
建物耐震性の向上
震動台実験WG
共通テーマ部会A
共通テーマ部会B
•木造住宅耐震性能検討WG
•医療機関の地震時利用継続性評価WG
•室内空間地震被害評価検討WG